

(様式4b号)

患者さんおよび患者さんのご家族の方へ

このたび当院では、以下の臨床研究を、滋賀県立総合病院倫理委員会の承認を受け、かつ病院長の許可のもと実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

本研究の対象者に該当する可能性がある方やそのご家族の方で、ご質問がある場合、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記の担当者までご連絡ください。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受けるうえで不利益が生じることはございません。

【研究課題名】

多施設コホートを利用した髄膜腫術後における予防的抗発作薬の効果の検討

1. 研究の意義・目的

急性期脳梗塞に対する血栓回収療法は、選別された症例において内科的加療と比較して臨床転帰を改善することが示されています。本研究では多施設で収集した血栓回収療法のデータを解析することにより、血栓回収療法の患者背景、手術に関連する項目、安全性項目、臨床転帰を解析することを目的とします。将来的には、急性期脳梗塞に対する血栓回収療法の治療を適正化することでより良い治療を行なうことを目指します。

2. 研究方法

本研究は、すでに通常診療で得られたデータのみを利用します。

3. 対象となる方

2015年1月1日から2024年12月31日の間に当院において、入院治療を行なった急性期脳梗塞に対する血栓回収療法を受けた患者さん。

4. 利用する試料・情報

2015年1月1日から2024年12月31日までに得られた、画像データ(頭部CT、MRI、血管撮影検査など)、臨床データ(症状、既往歴、血液検査、治療内容、経過、予後など)を利用します。

5. 外部への試料等の提供

個人が直接特定されないように処理した上で、京都大学医学部附属病院で厳重に管理されます。

6. 研究期間

当院の実施許可日から2030年12月31日まで

7. 個人情報の取扱い

8. 費用および謝金等

本研究は診療録に基づく観察研究であり、あなたの費用負担は発生しません。また研究参加に伴う謝礼の支払いもございません。

9. お問い合わせ先

京都大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 菊池隆幸

電話 075-751-3459

滋賀県立総合病院 脳神経外科 科長 織田雅

電話 077-582-5031